

水害における衛生対策と消毒について

湯沢市 健康対策課

水害により家屋等が浸水すると、その後雑菌が繁殖しやすい環境になり、感染症が発生する恐れがあります。

感染症予防のためには、丁寧な清掃と十分な乾燥が重要になります。必要に応じて消毒を行ってください。

清掃の時の注意事項

- ドアと窓を開けて、しっかり換気（カビが発生していることがある）
 - 汚泥は取り除き、しっかり乾燥（消毒薬はこのあとに）
 - 清掃中のケガ予防に手袋、長靴、あればゴーグルを着用
 - ほこりを吸わないようにマスクを着用
 - 清掃が終わったらしっかり手洗い
 - 暑い季節は水分補給と休憩をとりましょう
-

【浸水した家屋の感染症対策】

1. 床上浸水の場合

室内は、食事や睡眠など生活を行う場所のため、泥や汚れを十分に取り除き乾燥させた後、消毒を行いましょう。

- 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きをするなどしてから、十分に乾燥させてください。
 - 食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。
 - 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。
- ※消毒薬の使用方法については、裏面をご参照ください。

2. 家の周囲や床下浸水の場合

庭や床下などの屋外の消毒は、原則不要です。

土砂等を取り除いた後、しっかり乾かすことが重要です。

- 庭木や家の外壁についた泥は、水で十分に洗い流してください。
- 床下換気口のごみを取り除き、床下の風通しを良くしてください。
- 床下は汚泥を取り除いた後、雑巾などで水気を取り、扇風機やサーキュレーターを使って換気し、十分に乾燥させてください。

【問い合わせ】

湯沢市 健康対策課 0183-73-2124

【食中毒・感染症予防について】

- 調理や食事前、およびトイレの後は、石けんで十分に手洗いしてください。
- 手拭きタオルの共用は避けましょう。ペーパータオルの使用が望ましいです。
- 水に浸かった食品や、停電などで保存温度が保てなかった要冷蔵・要冷凍食品は廃棄してください。
- 食器や調理器具などは、次亜塩素酸ナトリウム希釈液に浸した後、よく水洗いしてから使用しましょう。熱に強い素材のものは、煮沸消毒や熱湯消毒も効果的です。
- 腹痛、下痢、発熱等、からだに異常を感じたら、早めに受診してください。

主な消毒方法について

○次亜塩素酸ナトリウム

汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合に使用します

○アルコール、塩化ベンザルコニウム（逆性石けん）

色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使用します



消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可) <使用する直前に希釈する>	0.02%に希釈する 〈水 1 ℓ に対し消毒薬 5 ml〉 ①食器用洗剤と水で洗う ②希釈した消毒液に 5 分間漬けるか、消毒液を含ませた布で拭き、その後水洗い・水拭きする ③よく乾燥させる	0.1%に希釈する 〈水 1 ℓ に対し消毒薬 20 ml〉 ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾で水拭きしてから十分に乾燥させる ②希釈した消毒液に浸した布などでよく拭く ③金属面や木面など、色あせが気になる場所では水で二度拭きする
消毒用アルコール (アルコール濃度 70%以上)	希釈せず原液のまま使用する ①洗剤と水で洗う ②アルコールを含ませた布で拭く	希釈せず原液のまま使用する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾で水拭きしてから十分に乾燥させる ②アルコールを含ませた布で拭く
10%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん) <使用する直前に希釈する>	0.1%に希釈する 〈水 1 ℓ に対し消毒薬 10 ml〉 ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾で水拭きしてから十分に乾燥させる ②希釈した消毒液に浸した布などでよく拭く	0.1%に希釈する 〈水 1 ℓ に対し消毒薬 10 ml〉 ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾で水拭きしてから十分に乾燥させる ②希釈した消毒液に浸した布などでよく拭く

△ 希釈する濃度を守る △ 消毒液は混ぜない △ 器に移して保管しない